



「ほっとルーム」だより

第199号 令和7年3月1日発行
いちき串木野市家庭教育支援連絡協議会
(子どもみらい課内 TEL 33-5618)

社会教育課では、来年度、小・中学校に入学する子どもを持つ保護者を対象に「家庭教育講座」を実施しております。子どもみらい課では、この機会に小学校で「家庭教育支援事業」の説明と支援員の紹介をしました。講座にも参加させていただき保護者と一緒に学び、講師の先生方のお話は、子育て中の保護者の皆さんにエールを送られているように感じました。

～子育ては、期間限定の最高のごほうび～

家庭はすべての教育の**原点**であり、
愛情による**絆**で結ばれた場であり、
常に、子どもの**心**のよりどころとなるもの(ところ)です。

親とは…子どもにとって故郷であり、最初に教わる先生にもなる、かけがえのない存在。

子どもとの会話を大切にしましょう

「話せばわかる」とは限らないが、
話さなければもっとわからない」

★会話のコツ2点

①聞き役に徹する

- ・否定しない
- ・黙ってうなずく
- ・「そんな風に感じていたんだ」
- ・「そうなんだ」

※聞き流すのではなく、
しっかり「聴く」ことが大事。
「聴」という字には、
耳と心が入っていますね！

②会話の「さしすせそ」

- ③ …さすが
- ④ …知らなかった
- ⑤ …すごいね
- ⑥ …センスがいいね
- ⑦ …そうなんだ



間違っただけは しっかり叱りましょう

「厳しく叱られたけど、
今ではそれに感謝している」

★「叱る」「怒る」の違い

- ・叱る…アドバイスする。注意する。
- ・怒る…カッとなる(感情的)

★間違いは、しっかり叱る。本気で叱る。

- ・命にかかわること…危険な遊び
- ・他人を傷つけること…暴力・暴言
- ・社会ルール違反…万引き・交通違反等

★叱り方で気を付けたい「かきくけこ」

- ⑧ …感情的に叱りません
- ⑨ …気分ですりません
- ⑩ …比べて叱りません
- ⑪ …けんか腰で叱りません
- ⑫ …行動にうつしません

子どもは 成功体験を積み重ねて 自信をつけるもの

小さな事でも
子を「認め」「褒め」その気にさせる

子どもの人格を尊重し 先回りせず
じっくりと「待つ覚悟」も大事です。

やってみせ 言って聞かせて
させてみせ ほめてやらねば
人は動かじ

～ほっとルーム～
(子どもみらい課内)

子育ての中で、気になること等ありましたら、一人で悩まず、
いつでも気軽にご相談ください。一緒に語りましょう。

TEL : 33-5654

FAX : 32-3124



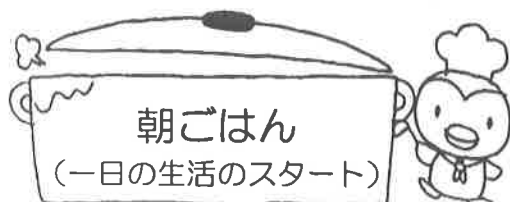
市来小学校 出前サロン「おあしす」 ～給食試食会と同日開催～



献立

- ・奄美の鶏飯
- ・厚揚げの
そぼろみそかけ
- ・牛乳

市来小学校では、1月17日（金）給食試食会の日、出前サロン「おあしす」を開設しました。私たち支援員も給食試食会から参加させていただき、保護者の皆さんと一緒に、学校給食センター栄養教諭の田尻美穂子先生による食育の講話をお聞きし、あらためて、朝ごはんの大切さを学びました。



朝ごはん

（一日の生活のスタート）

身体にエネルギー補給
集中力・やる気・体力を持続
一日の身体のリズムを整える

～支援員の感想～

朝食の大切さについて知ってはいましたが、お話を聞いたことで、我が家の食事を改めて振り返ることができました。また、毎日の朝食を考えると、メニューについて少し工夫する意識がついたように思います。

おあしすでは…

20人の保護者の皆さんが参加され、食後の飲み物を飲みながら、子どもさんの成長やクラスの様子などを情報交換されていました。保護者の皆さんの語り合う場としてご活用いただき嬉しく思います。参加していただいた皆さん、ありがとうございました。

子育て アドバイス

いのちの大切さ

父と母で二人

父と母の両親で四人

そのまた両親で八人

こうしてかぞえてゆくと

十代前で千二十四人

二十代前では……………？

なんと、百万人を超すんです

過去無量のいのちのバトンを受けついで

いまここに自分の番を生きている

それがあなたのいのちです

それがわたしのいのちです



相田みつを

「自分の番 いのちのバトン」

※無量とは、はかることが できないほど大きいこと

県の相談機関

かごしま教育ホットライン24 ☎0120-783-574

24時間子どもSOSダイヤル ☎099-294-2200※携帯電話からはこちら

PTAすくすくライン（家庭教育やしつけについて） ☎0120-0-78310

☎099-251-0309